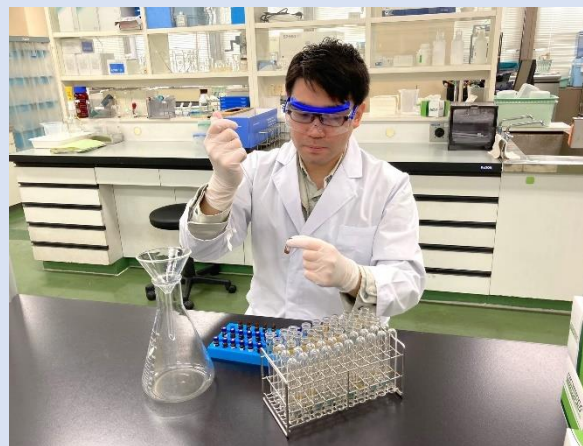


## 水質職

技術部水質管理室(令和6年3月現在)

K.M

2023年度採用



### 現在の仕事内容とやりがい

私は、水道水の原料である河川水(原水)や、送水している浄水場の水(浄水)の水質検査を行っています。現在担当する6つの検査項目について、種々の測定機器や分析装置を使って、水に有害物質やニオイの元となる物質が含まれていないか分析しています。

また、河川に異常がないか原水の水質を確認するために、部署として毎週、水源の巡視と検査を行っています。

北千葉広域水道企業団の職員としてのやりがいは、安心安全な水を毎日絶やさず供給し、人々の生活を支えていることそのものです。特に水質管理室では、水道水の安全性を確認するという重要な仕事を行っています。水道は生活に欠かせないインフラであり、その一翼を担っていることに誇りと責任を感じます。

### 仕事で大変だったこと

仕事で大変だと思ったことは、検査に使う大型の装置が故障した際、検査が通常通り実施できるよう急いで修繕したことです。水質検査は項目ごとに「検査開始までの制限時間」が決められており、これを超えて検査しても適正な結果と認められません。水の安全性に責任を持つために、例え装置が故障したとしても決まり事を守って検査を実施することはイレギュラーな対応を迫られ苦労しましたが、やりがいも感じました。

また、北千葉広域水道企業団が取水する江戸川の上流の利根川では、毎年夏になるとハクレンという魚が産卵し、浄水処理を困難にしたり異臭味の原因になったりします。適切な処理を行うために昼夜関係なく卵の計数のために現場に出ることもあり、ほとんど浄水場でする仕事というイメージとのギャップを感じました。

### 職場の雰囲気

職場は和やかな雰囲気です。年齢の離れた先輩方も気さくに話しかけてくださって質問もしやすく、初年度でわからないことばかりでも何も心配することなく仕事に取り組むことができます。また、基本的には自分が担当する検査の実施が主な業務なので、スケジュールの管理がしやすいです。時間外勤務も少なく休暇も取得しやすいので、自分のペースで仕事ができる職場です。

## 受験者へのメッセージ

---

北千葉広域水道企業団を受験するにあたり、不安なことやよくわからないことも多いと思います。私の場合、特に大学での専攻が生かせない職業なのではないか、それが理由で採用されないのではないかと不安でした。実際、大学で学んだ超分子化学は現在の業務とはほとんど関係がありませんが、検査原理に勉強した化学反応が用いられているなど生きる場面もありました。また、これまで身につけた薬品や器具の取り扱い方や化学の知識は日々の業務で役立っています。先輩方が丁寧に指導してくださるのも大きく、仕事に対する不安感が入団前に思っていたものより遙かに小さいものでした。

実際の業務や職場の雰囲気について、文章だけではイメージがつかないこともあるかと思います。説明会なども実施していますので、是非参加して具体的なイメージをつかんでいただきたいです。